

令和6年度 山梨県立甲府城西高等学校 学校評価報告書

学校目標・経営方針	何事にも主体的に取り組み、創造する力と豊かな人間性を身につけ、社会に貢献する生徒を育成する。
-----------	--

山梨県立甲府城西高等学校校長 田代 剛久

本年度の重点目標	1 主体的に学び続ける力を育む(主体性)	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4 良くできている。
	2 創造力を高める思考力・判断力・表現力を育む(創造性)		B 概ね達成できた。(6割以上)		3 できている。
	3 心身を鍛え、豊かな人間性を育む(人間性)		C 不十分である。(4割以上)		2 あまりできていない。
	4 規範意識を高め、社会性を育む(社会性)		D 達成できなかった。(4割以下)		1 できていない。
	5 社会の情勢を意識し、主体的に社会と関わる態度を育む(協働性)				

自 己 評 価					
	本年度の重点目標			年度末評価	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度 成果と次年度への課題・改善策
1	主体的に学び続ける力を育む (確かな学力の育成)	①学習指導の工夫・改善に努め、自ら学び、考える力を育む。	学校評価アンケート	・「学習指導の工夫改善」 →評価A 19. 1％、評価B 54. 8％	B 昨年度よりも教職員の達成度が下がっており、今後も学習指導だけでなく、評価の妥当性などの工夫改善に努める。 教科横断的な取り組みや、相互授業参観等による授業技術の共有等で、4つの力の育成や授業改善に努めていく。 生徒が計画から関わられるような内容について検討し、実践を図っていく。 昨年よりも教職員の達成度が下がっており、生徒が目的意識を持って学校生活を送れるよう、引き続き学校全体で取り組んでいく。
		②授業を通して4つの力(理解する力、収集する力、まとめる力、伝える力)を育む。	学校評価アンケート	・「授業を通して4つの力の育成」 →評価A 21. 7％、評価B 52. 7％	
		③体験的な学習を重視し、興味・関心・意欲を高め、学び続ける力を育む。	学校評価アンケート	・「体験的な学習の重視」 →評価A 20. 9％、評価B 51. 5％	
		④目的意識を持って行動する態度を育む。	学校評価アンケート	・「目的意識を持って行動する態度の育成」 →評価A 21. 6％、評価B 55. 6％	
2	創造力を高める思考力・判断力・表現力を育む (豊かな心の育成)	①全ての教育活動において指導の狙いを明確にし、「主体的・対話的で、深い学び」の実現に努める。	学校評価アンケート	・「主体的・対話的で深い学び」 →評価A 19. 0％、評価B 48. 1％ ・「授業でのICTの活用」 →評価A 26. 8％、評価B 50. 2％ ・「授業の目標提示と振り返り」 →評価A 22. 3％、評価B 48. 5％	B ICT活用はかなり進んでいるが、科目・単元によっては活用していない授業も見られる。引き続き、「ICT活用」に取り組み、底上げしていく。また、「対話的な学び」は、自己・教師との対話でもあるので、そのような場面を設定しながら、生徒の成長につなげていく。 系列科目の積み上げにより、積極的に資格取得に取り組んでいるが、今後は自学で取り組める方法も模索・導入していきたい。 長期間にわたる個別の小論文・面接指導が本校の強みなので、丁寧に対話的な指導を重ねながら、進路実現に取り組んでいく。
		②資格取得を奨励し、専門性の高い実践力を育む。	学校評価アンケート 資格取得結果	・「系列の特色を生かした授業」 →評価A 23. 8％、評価B 53. 0％ ・「資格取得の奨励」 →評価A 24. 7％、評価B 53. 1％	
		③基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせ、進路実現に結びつける。	学校評価アンケート 実力診断テスト 進路実績	・「ICT活用で学習習慣の確立」 →評価A 21. 4％、評価B 46. 6％ ・「実力診断テストの活用」 →評価A 19. 0％、評価B 47. 8％ ・「課外や小論文・面接の個別指導の充実」 →評価A 24. 9％、評価B 51. 8％	
3	心身を鍛え、豊かな人間性を育む (健やかな体の育成・特別支援教育の推進)	①自己を正しく理解し、在り方・生き方について考えさせる取り組みを実践する。	学校評価アンケート	・「LHRや外部講師の講義の効力」 →評価A 19. 6％、評価B 50. 1％	B 卒業生や外部連携を生かした効果的な講演会を企画・運営するなど、自分自身を見つめ、考える機会をつくっていく。 高い意識を持ちながら部活動に取り組んでいる生徒が多いが、生徒同士の人間関係には注意しながら観察していく。 LHRでの実施は一定の評価が得られた。今後も道徳教育を通し、しなやかな心の育成や、いじめを生まない・許さない環境づくりに努めていく。
		②部活動を通して心身の健康や健全な人間関係を築く力を育むと共に外部指導者を活用し、顧問の負担を軽減する。	学校評価アンケート	・「部活動での健康や人間関係力の育成」 →評価A 28. 9％、評価B 48. 3％	
		③教育活動全体を通して、道徳教育の充実に努める。	学校評価アンケート	・「LHRでの道徳教育の実施」 →評価A 17. 4％、評価B 40. 5％	
4	規範意識を高め、社会性を育む	①基本的生活習慣を確立させる。	学校評価アンケート	・「遅刻指導などの充実」 →評価A 29. 7％、評価B 51. 6％ ・「あいさつ習慣の確率」 →評価A 22. 9％、評価B 75. 0％	B 粘り強い始業5分前の遅刻指導について、生徒の評価も高いので、朝の声かけを含めて、今後も継続した指導を行っていく。 社会に受け入れられる身だしなみを継続して指導していくのだが、校則改定など時代の変化に合わせた生徒指導が求められる。引き続き、検討を進めていく。
		②社会人として必要なルール(規則)やマナー(礼儀)を身につけさせる。	学校評価アンケート	・「服装・頭髮指導の徹底」 →評価A 31. 5％、評価B 49. 9％ ・「交通マナー指導の充実」 →評価A 25. 7％、評価B 48. 7％	
5	社会の情勢を意識し、主体的に社会と関わる態度を育む (地域や世界で活躍できる人材の育成)	①NIEを活用して社会の情勢を知り、自らの意見をもつことができるようにする。	学校評価アンケート	・「授業やLHRでの新聞活用」 →評価A 17. 9％、評価B 34. 1％	B パワーポイントを使った資料作成・発表スキルはかなり上進している。生徒自らが課題に発見し、課題解決に向けて発想、提案できるように仕組んでいく。 山梨の産業や文化を題材とし、外部と連携をしながら総合学科の特色を生かしたキャリア教育が継続して行われている。今後は自治体を巻き込みながら、学びを深化させていく。 芸術鑑賞会の実施や、校外学習での体験を通じ、豊かな心の育成を目指した。芸術鑑賞会は3年に一度になるが、無償の芸術鑑賞会を活用し、本物に触れさせる機会を設けていく。
		②キャリア教育の充実を図り、個々の進路に向けての意識づけを行う。	学校評価アンケート	・「インターンシップ等の充実」 →評価A 27. 9％、評価B 51. 1％ ・「産社やLHRの効果」 →評価A 22. 8％、評価B 47. 0％	
		③文化・伝統・芸術に触れ、豊かで健全な情操を育む。	学校評価アンケート 生徒感想文等	・「文化・伝統・芸術に触れ、情操を育む」 →評価A 21. 6％、評価B 48. 6％	

学校関係者評価	
実施日 (令和7年2月28日)	
評価	意見・要望等
4	・主体性を育む点では、4つの力全てにおいて生徒・保護者・教員共に高評価をいただいており、大いに評価できていると思います。さらに、年々評価が高くなっており、甲府城西高校の特徴的な体験的な学習の成果があらわれているのと感じます。今後も、現在の活動をさらに進めていただければと思います。 ・「主体的に学び続ける力」について、総合学科発表会で感じたことは、興味ある分野において、課題を見つけ、仮説→調査、検証→分析、評価→改善策(新たな課題発見)と上手にプレゼンしていました。先生方の指導、アドバイスの行き届いていると思いますが、生徒自身の総合学科ならではの目的意識をもった内容、行動と思います。 ・方策(1)の点で、やや評価が低くなっていることの分析が必要かと思ひます。なぜ、生徒は他のところでは評価が高いのに、ここだけで低くなるのでしょうか。 ・アンケート結果から、概ね達成できていると判断します。
4	・創造性を高める事についても、生徒や保護者によく理解されていることがわかりました。総合学科発表会を拝見させていただきましたが、今年度は例年にも増して、レベルが高い発表が多かったように思ひます。BYODの取り組みの成果も現れているように感じました。PCやタブレット、携帯電話の使用には、様々な課題があると思いますが、生徒・保護者・教員の共通理解のもと効果的な取り組みがなされることを期待しています。また、スタディサプリの活用や実力診断テスト、小論文・面接指導の充実を感じることができました。 ・授業の中で、ICTが良く活用されている評価が、特に生徒さんに高いと思います。今後のことですが、授業でAI活用を進めていただき、生徒さんのICTリテラシーを向上できれば、社会に出たときに役立つと思ひます。資格取得、専門性の高評価は、総合学科として当然ですが好ましい結果と思ひます。 ・方策(1)が重点目標1のところと同様に、主体的な面で生徒の評価が低いことについて、分析が必要かと思ひます。今年度、上がっていることには、何か意味があるのでしょうか。今年度は前年と比較して、上がっている項目があることは素晴らしいと思ひます。 ・進路実績において、一部低下した部分も見受けられるが、達成できていると判断します。
4	人間性を育む点については、LHRや外部講師の講義などの取り組みと部活動の取り組みで、達成できた・ほぼ達成できたの評価が若干下がっていることが気になりましたが、部活動や厳しい生徒指導は甲府城西高校の特徴ですので自信をもって続けていってほしいと思ひます。また、道徳教育についての保護者・教員の評価が若干低いように感じました。 ・本校は部活動が運動系、文化系ともに活発で、好成績をあげていると思ひます。先輩、同級生、後輩との接し方や、他者とのコラボレーションなど、授業外の学びもあると思ひます。また社会全体がドライな風潮で、人間関係が複雑化していますので、道徳教育は評価の如何にかかわらず大切だと思います。 ・どの項目も評価が高く、素晴らしいと思ひます。 ・アンケート結果から、概ね達成できていると判断します。
4	・以前より登下校時に地域の人と会うと、多くの生徒さんが笑顔で挨拶してくれます。好印象で心を温かくしてくれます。以前は自転車で交差点での危険な飛び出しも見られましたが、最近は目にすることはなくなりました。交通マナーの指導も充実していると思ひます。 ・どの項目も評価が高く、素晴らしいと思ひます。 ・アンケート結果から、概ね達成できていると判断します。
4	社会性を育む項目についても、高評価をいただいており感心しました。挨拶ができることは、地域でも評判のよううれしく思ひます。また、服装・頭髮指導をしっかり指導していることなど生徒指導の充実、中学生の進路希望(人気校)にもつながっているのと思ひます。また、NIEを活用した取り組みは、今後一層大切な取り組みになってくると思ひます。そして、キャリア教育や産業社会と人間、情報教育の充実、甲府城西高校の特徴的な取り組みですのでこれからも頑張ってもらいたいと思ひます。 ・総合学科発表会でもわかりましたが、県内の大学や他学校、企業等による講義、指導、交流を得て主体的に社会と関わり、キャリア教育も充実されていると思ひます。また、同発表会では他社との協働性のみならず、生徒同士(チーム内)での協働性もよく発揮されていました。 ・どの項目も評価が高く、素晴らしいと思ひます。 ・アンケート結果から、概ね達成できていると判断します。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。